

第22回

日本保育保健学会

保育保健を「つなぐ」

「子育てにかかわるすべてへ」

《プログラム・抄録集》

2016年

会期

10月15日土・16日日

会場

岩手県立大学滝沢キャンパス 他

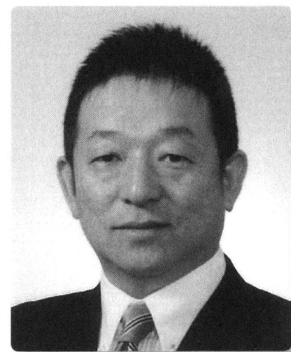
会頭

井上 孝之

(岩手県立大学社会福祉学部 人間福祉学科 生涯発達支援系 准教授)

保育保健を“つなぐ” — 子育てにかかわるすべてへ —

第22回日本保育保健学会 会頭 井上 孝之



台風10号の爪痕は想像以上に大きなものでした。岩手県岩泉町のキャッチフレーズは「森と水のシンフォニー」、町の面積は香川県とほぼ同じで、龍泉洞のある山奥から太平洋にかけて、山と川の恵まれた素晴らしい町です。被災により民家に入り込んだ泥を掻き出す作業が未だに続いています。なかなか進みません。若手のボランティアが欲しいのですが、集まらないのが現状です。

熊本地震の被災地のその後も気になっています。しかし、被災地の人々の生活情報は、なかなか伝わってきません。全国ニュースで報道されなければ、熊本地震の情報は得られにくくなっています。いま、被災した地域の子どもたちは毎日を笑顔で過ごしているのでしょうか。東日本大震災の後に子どもたちが不安だったことや、保育者や保護者が大変な思いをされていたことが思い出され、被災された方々の環境の早期の改善を願ってやみません。

この夏も暑い日が続きました。猛暑日を記録した地域も多く、ここ数年の異常気象は日常になってしまったのでしょうか。自然災害も含めて、私たちの周りに起こる様々な事件には、これまでは到底予想すらできなかった悲惨な出来事もあります。日本の何処かで起こった出来事は、日本の他の何処でも起こり得ることです。身の回りに起きる全ての出来事を教訓として、いつ何処で何が起こってもいいように予測しながら生活をしていくことが当たり前になってきているようにすら感じられます。保護者の方が、自分の命よりも大切だと感じている「子どもたちの命を預かる」のが本学会の多くの会員の仕事でありましょう。子どもの危険回避や教え込みのために、険しい顔で子どもたちと接するのではなく、いつも明るい笑顔を忘れたくないものです。

さて、第22回学会は、10月15日（土）～16日（日）に、岩手県立大学をメイン会場に行われます。東日本震災後初の東北での大会です。震災から5年半が経過いたしました。保育保健にかかわる私たちは、何をして、何をしなかったのでしょうか。東日本大震災以前は、仮設住宅は2年が限度とされていました。しかし、現在でも仮設住宅に居住されている方々がおられます。仮設住宅に住み続けなければならない理由は一様ではありませんが、「仮設」とはいつまでなのでしょう。このような事実を東北以外の方々もご存知なのでしょうか。私は同じ東北に住んでいながらも、震災によって大きな被害を受けた地域への関心が薄れていくことを感じることもあります。それは、震災からの復興に関する報道はローカルニュースとしてしか伝わらないからです。現在の日本は格差社会と言われていますが、このような情報格差を感じることも多くなっています。

本大会では、子どもが思わず笑顔になるような、大人のための実技講座も取り入れました。工作、器楽演奏、マジック、読み聞かせにも、ぜひチャレンジしてみてください。講演も全国から素晴らしい講師の先生方をお招きすることができました。東日本大震災後の子どもや保護者、保育者への支援についてのシンポジウムも必見です。子育てにかかわるすべての方々に全国からお集まりいただき、保育保健を語り、気づき、学び、交流し合い、そして、“つなぐ”場となりますよう、全力でお迎えする所存です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第22回日本保育保健学会 日程表

第1日目：10月15日（土）			
	共通講義棟1F 101講義室	共通講義棟1F ロビー	共通講義棟3F 301講義室
10:00	受付開始		
11:00	エビペン講習会 講師：山口 淑子（山口クリニック 院長） 柏葉 英美（岩手県立大学社会福祉学部 講師）	心肺蘇生法講習会 講師：滝沢消防署 北出張所	
11:50			
12:00	共通講義棟1F 講堂		
12:00	開会式		
12:05	会頭講演 座長：三浦 義孝（日本保育保健協議会 会長） 「保育保健を“つなぐ” 井上 孝之（岩手県立大学社会福祉学部人間福祉学科 准教授）		ポスター展示
12:30	会頭招聘特別講演 座長：井上 孝之（岩手県立大学社会福祉学部人間福祉学科 准教授） 「素粒子物理学は今」：Highlight of Elementary Particle Physics 鈴木 厚人（岩手県立大学 学長）		
13:30	特別講演 座長：渡辺 一彦（日本保育保健協議会 副会長） 「保育行政の動向と課題」 巽 慎一（厚生労働省雇用均等・児童家庭局 保育課課長）		
14:00	基調講演 座長：藤田 位（日本保育保健協議会 副会長） 「これからの保育保健への期待」 岡 明（東京大学医学部小児科学講座 教授）		
14:40	シンポジウム 「保育施設における心のケア — 震災からこれまで、そして明日へ — 座長：星 拓史（岩手県社会福祉協議会福祉経営支援部 部長） コーディネーター：音山 若穂（群馬大学大学院教育学研究科 教授） 1) 「保育における心のケア」 畑山みさ子（ケア宮城 代表、宮城学院女子大学 名誉教授） 2) 「災害後の幼い子どものメンタルヘルス・ケア」 八木 淳子（いわてこどもケアセンター 副センター長、岩手医科大学 講師）		15:00~16:00 一般演題 ポスター発表 座長：和田明人 （東北福祉大学 教育学部）
16:40	教育講演1 座長：坂本 洋（全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 専務理事） 「教育に科学的根拠を」 中室 牧子（慶應義塾大学総合政策学部 准教授）		ポスター展示
18:10			
18:30	交流会（学生ホール棟内 岩手県立大学生協食堂）		

第22回日本保育保健学会 日程表

第2日目：10月16日（日）			
	共通講義棟1F 講堂	共通講義棟3F 301講義室	
8:30	受付開始		
9:00	教育講演2 座長：中島 夏樹（日本保育保健協議会 理事・感染症対策委員会 委員長） 「保育施設での感染症対策 ― ワクチンで予防可能な感染症と職員の予防 ―」 多屋 馨子（国立感染症研究所 感染症疫学センター 第3室（予防接種室）室長）	ポスター展示	
10:00	教育講演3 座長：下村 国寿（日本保育保健協議会 理事・事故予防安全対策委員会 委員長） 「傷害予防に取り組む ― 変えられるものを見つけ、変えられるものを変える ―」 山中 龍宏（緑園こどもクリニック 院長）		10:00~11:00 一般演題 ポスター発表 座長：保坂 遊 （東京家政大学 子ども学部）
11:00	教育講演4 座長：並木由美江（日本保育保健協議会 理事・健康疾病管理委員会 委員長） 「保育看護力醸成 ― 保育者のための看護カスルアップ ―」 市川光太郎（北九州市立八幡病院救命救急センター・小児救急センター 病院長）	ポスター展示	
12:00	会員報告会・保育保健表彰・生涯研修修了証授与式・次期会頭挨拶		
12:30	ランチョンセミナー 1 A会場（共通講義棟1F 講堂） 「子どもの命を守る保育とは？ ―愛情深く一人ひとりを大切にする実践―」 座長：太田マリ子（りんごの森保育園園長） 演者：猪熊 弘子（東京都立大学 客員准教授） 共催：岩手インフォメーション・テクノロジー株式会社		ランチョンセミナー 2 B会場（共通講義棟1F 101講義室） 「定期接種となったB型肝炎ワクチン」 座長：米沢 俊一 （岩手愛児会 もりおかこども病院院長） 演者：藤澤 知雄 （済生会横浜市東部病院小児肝臓消化器科顧問） 共催：MSD株式会社
13:30	ランチョンセミナー 3 C会場（共通講義棟2F 201講義室） 「感染症予防、アレルギー対策、発達障害児支援が、元気な子どもを育む街をつくる」 座長：川村 和久 （かわむらこどもクリニック 院長） 演者：是松 聖悟 （大分大学医学部地域医療・小児科分野教授） 共催：田辺三菱製薬株式会社		ランチョンセミナー 4 D会場（共通講義棟1F 106講義室） 「ワクチンリテラシーを高めよう！ ~安心して予防接種を受けてもらうためのポイント~」 座長：三浦 義孝 （岩手県小児科医会 会長/みうら小児科 院長） 演者：南 武嗣 （医療法人たけのこ会みなみクリニック理事長） 共催：ジャパンワクチン株式会社、第一三共株式会社
14:00	市民公開講座 座長：白畑 範子（岩手県立大学看護学部 教授） 「親の言葉でこんなに変わる子どもの育ち ― 心（非認知的能力）を育むコミュニケーションのあり方 ―」 汐見 稔幸（白梅学園大学 学長、東京大学 名誉教授）		15:00~15:30 ポスター撤去
15:30	閉会式		

ワークショップ（9:00~9:50、10:00~10:50）

A. はじめてのこうさく 会場：共通講義棟3F 306講義室 講師：丸林佐和子	B. クラウン(道化師)マインド体験 会場：共通講義棟3F 308講義室 講師：クラウン ろっく	C. ウクレレで歌おう 会場：共通講義棟3F 305講義室 講師：ツジヤマガク	D. 打楽器カホンのススメ 会場：共通講義棟2F 206講義室 講師：徳増全矢、菊池清文	E. クロスアップマジック 会場：共通講義棟2F 207講義室 講師：保育士マジシャンカムラ	F. 絵本読み聞かせ 会場：共通講義棟3F 307講義室 講師：佐藤千春
--	---	--	---	---	---

学会プログラム

第1日目：10月15日（土）

10:00～ 受付開始

11:00～11:50 **エピペン講習会**

会場：共通講義棟1F 101講義室

講師：山口 淑子（山ロクリニック 院長）

柏葉 英美（岩手県立大学社会福祉学部 講師）

（先着300名にエピペントレーナーを差し上げます）

11:00～12:00 **心肺蘇生法講習会**

会場：共通講義棟1F ロビー

講師：滝沢消防署 北出張所

（11:00～、11:30～の2回に分けて行います）

12:00～12:05 **開会式**

12:05～12:30 **会頭講演**

座長：三浦 義孝（日本保育保健協議会 会長）

「保育保健を“つなぐ”」

井上 孝之（岩手県立大学社会福祉学部人間福祉学科 准教授）

12:30～13:30 **会頭招聘特別講演**

座長：井上 孝之（岩手県立大学社会福祉学部人間福祉学科 准教授）

「素粒子物理学は今」：Highlight of Elementary Particle Physics

鈴木 厚人（岩手県立大学 学長）

13:30~14:00 特別講演

座長：渡辺 一彦（日本保育保健協議会 副会長）

「保育行政の動向と課題」

巽 慎一（厚生労働省雇用均等・児童家庭局 保育課課長）

14:00~14:40 基調講演

座長：藤田 位（日本保育保健協議会 副会長）

「これからの保育保健への期待」

岡 明（東京大学医学部小児科学講座 教授）

14:40~16:40 シンポジウム**「保育施設における心のケア — 震災からこれまで、そして明日へ —」**

座長：星 拓史（岩手県社会福祉協議会福祉経営支援部 部長）

コーディネーター：音山 若穂（群馬大学大学院教育学研究科 教授）

1) 「保育における心のケア」

畑山みさ子（ケア宮城 代表、宮城学院女子大学 名誉教授）

2) 「災害後の幼い子どものメンタルヘルス・ケア」

八木 淳子（いわてこどもケアセンター 副センター長、岩手医科大学 講師）

15:00~16:00 一般演題 ポスター発表（共通講義棟3F 301講義室）

座長：和田 明人（東北福祉大学 教育学部）

16:40~18:10 教育講演1

座長：坂本 洋（全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 専務理事）

「教育に科学的根拠を」

中室 牧子（慶應義塾大学総合政策学部 准教授）

18:30~ 交流会（学生ホール棟内 岩手県立大学生協食堂）

第2日目：10月16日（日）

8:30～ 受付開始

9:00～10:00 教育講演2

座長：中島 夏樹（日本保育保健協議会 理事・感染症対策委員会 委員長）

「保育施設での感染症対策

－ ワクチンで予防可能な感染症と職員の予防 －

多屋 馨子（国立感染症研究所 感染症疫学センター 第3室（予防接種室）室長）

10:00～11:00 教育講演3

座長：下村 国寿（日本保育保健協議会 理事・事故予防安全対策委員会 委員長）

「傷害予防に取り組む

－ 変えられるものを見つけ、変えられるものを変える －

山中 龍宏（緑園こどもクリニック 院長）

9:00～9:50、10:00～10:50 ワークショップ

A. はじめてのこうさく

会場：共通講義棟3F 306講義室

講師：丸林佐和子

B. クラウン（道化師）マインド体験

会場：共通講義棟3F 308講義室

講師：クラウン ろっく

C. ウクレレで歌おう

会場：共通講義棟3F 305講義室

講師：ツジヤマガク

D. 打楽器カホンのススメ

会場：共通講義棟2F 206講義室

講師：徳増 全矢、菊池 清文

E. クローズアップマジック

会場：共通講義棟2F 207講義室

講師：保育士マジシャン ナカムラ

F. 絵本読み聞かせ

会場：共通講義棟3F 307講義室

講師：佐藤 千春

10:00～11:00 **一般演題 ポスター発表**（共通講義棟3F301講義室）

座長：保坂 遊（東京家政大学 子ども学部）

11:00～12:00 **教育講演4**

座長：並木由美江（日本保育保健協議会 理事・健康疾病管理委員会 委員長）

「保育看護力醸成 — 保育者のための看護カスルアップ —

市川光太郎（北九州市立八幡病院救命救急センター・小児救急センター 病院長）

12:00～12:30 **会員報告会・保育保健賞表彰・生涯研修修了証授与式・次期会頭挨拶**12:30～13:30 **ランチョンセミナー****ランチョンセミナー1** A会場（共通講義棟1F 講堂）**「子どもの命を守る保育とは？—愛情深く一人ひとりを大切にする実践」**

座長：太田マリ子（りんごの森保育園 園長）

演者：猪熊 弘子（東京都市大学 客員准教授）

共催：岩手インフォメーション・テクノロジー株式会社

ランチョンセミナー2 B会場（共通講義棟1F 101講義室）**「定期接種となったB型肝炎ワクチン」**

座長：米沢 俊一（岩手愛児会 もりおかこども病院 院長）

演者：藤澤 知雄（済生会横浜市東部病院小児肝臓消化器科 顧問）

共催：MSD株式会社

ランチョンセミナー3 C会場（共通講義棟2F 201講義室）**「感染症予防、アレルギー対策、発達障害児支援が、
元気な子どもを育む街をつくる」**

座長：川村 和久（かわむらこどもクリニック 院長）

演者：是松 聖悟（大分大学医学部地域医療・小児科分野 教授）

共催：田辺三菱製薬株式会社

ランチョンセミナー4 D会場（共通講義棟1F 106講義室）

「ワクチンリテラシーを高めよう！」

～安心して予防接種を受けてもらうためのポイント～

座長：三浦 義孝（岩手県小児科医会 会長/みうら小児科 院長）

演者：南 武嗣（医療法人たけのこ会みなみクリニック 理事長）

共催：ジャパンワクチン株式会社、第一三共株式会社

13:30～14:00 **休 憩**

14:00～15:30 **市民公開講座**

座長：白畑 範子（岩手県立大学看護学部 教授）

「親の言葉でこんなに変わる子どもの育ち

— 心（非認知的能力）を育むコミュニケーションのあり方 —

汐見 稔幸（白梅学園大学 学長、東京大学 名誉教授）

15:30～ **閉会式**

サテライト企画

「リスクマネジメント講座」

日時：10月16日（日）15:00～16:30

場所：いわて県民情報交流センター「アイーナ」6F世代間交流室

〒020-0066 岩手県盛岡市盛岡駅西通1-7-1 TEL 019-606-1717

講師：日本保育保健協議会 事故予防・安全対策委員会

一般演題（ポスター）ご案内

演題番号	演題名・演者氏名・所属
P1-1	札幌市における新卒保育士の就業状況からみる保育士不足解消に向けての検討 小笠原 由法（札幌市乳幼児園医協議会）
P1-2	子どもの発病時における受診状況と親のニーズ 白畑 範子（岩手県立大学 看護学部）
P1-3	開園一年目の保育保健活動の現状と課題 太田 マリ子（社会福祉法人鶴山記念会 りんごの森保育園）
P1-4	保育園保健職における定期的な研修会の有効性（看護職の定着と資質向上） 米屋 華子（盛岡市私立保育所協議会 保健グループ）
P1-5	乳幼児が急性疾患を発病したときの母親への支援 寺澤 佳奈子（八戸市立市民病院）
P1-6	保育施設における創傷処置の実態調査 春高 裕美（九州女子大学 人間科学部）
P1-7	保育園保護者が求める看護師へのニーズと保育園看護師の役割 武田 邦子（岩手看護短期大学 看護学科）
P1-8	兵庫県における保育士の健康管理についてのアンケート調査 藤田 位（兵庫県医師会 乳幼児保健委員会）
P2-1	自閉スペクトラム症児が手に握っているモノは固執対象か移行対象か ― 事例からの考察 ― 七木田 方美（比治山大学短期大学部 幼児教育科）
P2-2	性虐待児への対応プログラムRIFCR研修の実践報告と評価・課題 久保 恭子（東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部）
P2-3	障がいをもつ子どもが就学にいたるまでの母親の思いと支援 橋場 祐佳（岩手県立療育センター）
P2-4	保育上困る子どもの状況ベスト3とその程度について 吉兼 伸子（山口県立大学大学院 健康福祉学研究科）
P2-5	低出生体重児に対するホースセラピーの導入の検討 ― 保護者からのインタビューより ― 川乗 賀也（岩手県立大学 社会福祉学部）
P3-1	幼稚園教諭・保育士に向けた園児急変時対応トレーニングの開発と実践 ～「Childcare First Responderコース」～ 濱田 千枝美（NPO法人First Responder）
P3-2	保育園、幼稚園等の施設における防災、危機管理に関する現状 宍戸 路佳（西武文理大学 看護学部）
P3-3	保育現場におけるアレルギー児への緊急対応と連携づくりの取り組み 速見 かおり（稗田保育園）
P3-4	データから見る保育事故と保育者におけるBLS（一次救命処置）の必要性 宮野 由紀子（小田原短期大学）
P3-5	東日本大震災からのリスタート ～地域と人との結びつきの中で歩んできたこと～ 佐々木 賀代（山田町第一保育所）
P3-6	熊本地震災害支援活動に参加して 阿部 康子（社会福祉法人 三心会 織笠保育園）
P4-1	幼児の咀嚼に対する保護者の認識および咀嚼に関連する要因の検討 金城 やす子（名城大学 人間健康学部 看護学科）

演題番号	演題名・演者氏名・所属
P4-2	院内保育所における食事に関する研究 ― 給食における課題について ― 西村 実穂（東京未来大学 こども心理学部）
P4-3	3歳児を対象とした3ヶ月間の咀嚼教育支援による教育効果の持続性 ― 介入後3・26ヶ月の調査から ― 叶内 茜（東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究科）
P4-4	地方に在住する幼児の食生活と保護者の食意識に関する研究 上村 裕樹（帯広大谷短期大学）
P4-5	「保育園における食物アレルギーとその対応に関するアンケート調査 第2報」～除去食の現状～ 吉木 美恵（北海道保育園保健協議会・花山保育園）
P4-6	「保育園における食物アレルギーとその対応に関するアンケート調査 第2報」～年齢差、地域差の比較検討～ 渡辺 一彦（北海道保育園保健協議会・渡辺一彦小児科医院）
P4-7	「子どものすこやかな発達のために」～足型から見える子どもの体の変化、すこやかな足を育てる～ 熊谷 サオリ（たんぼぼ保育園）
P4-8	2015/2016年シーズンの川崎市保育園児のインフルエンザワクチン接種とその発症について 中島 夏樹（川崎市医師会保育園医部会）
P5-1	沖縄県保育園幼児の生活リズムの問題とその対策 ― (1)幼児の生活習慣の実態と保護者や保育者の意識からみる問題点 ― 照屋 真紀（早稲田大学大学院）
P5-2	保育園幼児の生活習慣と体力の課題とその対策 ― (1)体型と生活習慣、体力との関係 ― 小石 浩一（早稲田大学大学院）
P5-3	3歳未満児の健康生活に関わる家庭的保育者の支援 ― 生活習慣形成を手がかりとして ― 佐野 裕子（聖徳大学 児童学部）
P5-4	保育園幼児の朝の排便について 佐野 祥平（早稲田大学人間総合研究センター）
P5-5	保育園幼児の生活リズム整調のための方策 ― 規則正しい生活を送る幼児の生活実態 ― 泉 秀生（東京未来大学こども心理学部）
P5-6	台湾幼児園幼児におけるテレビ・ビデオ視聴時間の課題とその対策 五味 葉子（早稲田大学大学院）
P5-7	台湾幼児園幼児のからだのおかしさとその対策 前橋 明（早稲田大学 人間科学学術院）
P6-1	「いのちキラキラ」～いのちのはじまり～ 馬場 与志子（社会福祉法人東京児童協会）
P6-2	子どもへの健康教育 ― 授業で取り組んだ保育園での実践報告 ― 沼野 みえ子（新潟県立大学 人間生活学部）
P6-3	子どもアートアプローチによる豊かな日常的保育実践への取り組み 保坂 遊（東京家政大学 子ども学部）
P6-4	靴教育プログラム導入による靴行動の改善～総合的指導法の開発～ 吉村 眞由美（早稲田大学人間総合研究センター）
P6-5	育ち方・老い方を自ら決める国・デンマーク ― 幸福な老年期から「幼児期に必要な環境」を探る ― 藤岡 聡子（株式会社ReDo）